

事業所職員向け 児童発達支援自己評価結果表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫してる点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		数値的には適切であるが実際に玩具や椅子、机等を置くと狭く、児童同士の接触が多くなっている 児童15名、6~7名だと狭い気がします
	②	職員の配置数は適切であるか	100%		加配されている 手厚いと思う 緊急事態時や個別対応が必要となった場合は余裕がなく厳しい 人数は適切ですがマンツーマンの必要児が多くなると手薄になってしまう 利用する児の介助度が高くなりマンツーマン対応の児が多くなっていくと確実に7名はいてほしい
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%		写真カードやサイン等を使用し配慮 sitei している。視覚的にも分かりやすい 扉の色違い、分かりやすい表示を実施 概ね適切ではあるが別室で対応したいときの部屋が欲しい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%		活動に合わせて体育室等の使用が可能となっている 毎日掃除をしている コロナ禍で日々の消毒は遊具等全て実施
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	70%	30%	研修機会があり理解し、全職員が参加している できる限り多くの職員で実施を心がけてはいるが個人的に行っている事が多く共有や連携に欠けることもある 全員でそれぞれの児を振り返る時間を設けている
	⑥	保護者向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		満足度調査を実施している
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		回覧している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%		回覧している
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		園内研修、法人内研修、外部研修の機会がある
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		改善が必要な点があると思う 検証が必要と思う
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択されその上で具体的な支援内容が設定されているか	100%		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		それぞれの項目について記録も行っている

チェック項目		はい	いいえ	工夫してる点、課題や改善すべき点など
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		話し合いを随時実施している
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		それぞれの職員が考え、立案している
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		朝礼で確認と共にホワイトボードに可視化している
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	70%	30%	毎日ではないので、毎日実施したい記録で共有している 自然な話の流れで行えている時もある 記録に残し共有している 話す必要のあることはその日のうちに共有するようにしている 必ずではないが出来る時に職員間で振り返りを行い共有している 毎回行っても良いと思う。振り返りたい時が度々ある
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		話す必要のあることはその日のうちに共有するようにしている
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		必要時行っている
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		市内連絡会等参加している
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			非該当 (受け入れていない)
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			非該当 (受け入れていない)
	㉕ 移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	85%	15%	訪問相談支援事業実施 訪問相談や電話でのやりとりを実施 保育所等訪問支援を行う児童は連携を図れているがそれ以外の児童の情報共有は難しい 保護者からの希望があれば行っているが、園から提案しても良いのではないかと
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		要望があった場合実施 支援シート、就学資料、相談員の訪問等協力、連携している
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	70%	30%	支援の質の向上を図る為にも実施したい 非常勤時短勤務の為研修を受けられないのが残念。可能な限り受けたいです。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	40%	60%	施設内で子育て広場を実施しており参加すれば触れ合い活動する機会がある

		チェック項目	はい	いいえ	工夫してる点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携					半数以上の児が幼、保育園の並行通園をしている
	②⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	85 %	15 %	市内連絡会に参加している コロナでほぼ今年度はなかったが、例年参加している
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100 %		家庭と園との連絡票、送迎時、交換ノート、電話連絡等々保護者に合わせた方法を工夫している サービス提供書にて日々やり取り実施 サービス提供書で今日あった内容等伝えてはいるが、課題や今ある状況等は面談のみになってしまう
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	70 %	30 %	敢えてプログラムとしていないが個別面談や任意面談を受け付けている
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100 %		入園説明会にて実施
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100 %		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100 %		定期的以外にも随時行っている
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	85 %	15 %	コロナウイルスの関係で保護者間での交流機会を提供することができず、困り事として保護者から上がっていた 今年度は中止となったが予定していた 例年は懇談会、学習会を実施している
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100 %		
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100 %		法人、園の機関誌を季刊配布 「すけっちたより」を毎月配布 保健だより、給食だよりを配布
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100 %		
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100 %		保護者に合わせた伝達方法を工夫している
	④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	85 %	15 %	地域食堂が月1回、広場を毎週開催 年4回の祭りがあるがコロナウイルスの影響で縮小された 通園児は実施していない
	非常時の対応	④⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	85 %	15 %
④⑲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100 %		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫してる点、課題や改善すべき点など
非常時の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%		入園前に確認後も定期的に確認作業を実施している
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		栄養士とも連携している
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		園内組織の委員会が毎月作成し報告、共有している
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		法人研修、園内研修実施
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	85%	15%	現在身体拘束が必要な児はいない 必要時はマニュアルに沿って対応することは研修等で職員に周知され理解している

○この「事業所内における自己評価結果」は事業所（児童発達支援「すけっち」）全体で行った自己評価です。